

伊豆の国市郷土資料館

資料館だより

Vol.1

目次

- 特集 … (2)
昨年度事業報告 … (3)
本年度スケジュール … (4)
コラム・インフォメーション … (4)

当館所蔵資料紹介



坦庵筆 樹下唐美人図

この美人画は「たんなん坦庵」の作品です。坦庵は、えがわ江川太郎左衛門英龍（一八〇一―一八五五）の雅号です。幕末の輩山代官として活躍した人物で、日ごろから管轄地の情報収集を怠らず、窮民救済や治安維持にあたりました。また、西洋砲術の研究・普及や、海防政策の立案・建議・実行に至るまでさまざまな仕事をこなし、ペリー来航を契機に江戸湾内海台場の築造や反射炉はんしやろの建設などにも取り組みました。そのような多忙な中でも、書画や漢詩をたしなみ、多くの優れた作品を残しています。

（令和二年一月四日～二月二十八日展示予定）

特集

開館一年を迎えて



当館が平成二十九年七月一日に伊豆の国市立中央図書館二階に開館して、丸二年となりました。展示室は、同年五月三日をもって閉館となった葦山郷土史料館の常設展示内容の一部を引き継いでいます。さらに、この展示室も、旧大仁町のときに歴史・文化財を紹介していた展示室を活用しました。そのため、「はじめなのに、なつかしい」雰囲気をかもし出しています。

常設展示は「土と石でつくられた出土品」をテーマに、市内遺跡から出土した遺物や発掘調査の成果を紹介しています。施設の位置する大仁地区出土の縄文土器を展示の「主役」に抜擢し、仲道A遺跡出土「押圧縄文土器」などの県指定文化財が入口で来館者を迎えます。正面には縄文中期の「土器の丘」、左から回ると市内の歴史を順に学ぶことができます。

民俗資料として、市内で使われていた生活の道具（民具）も展示されています。これらの民俗資料は、小学校への出張授業にも活用しています。また、一九九二年に旭化成工業株式会社（現・旭化成ファーマ）と合併した東洋醸造株式会社が、清酒製造で実際に使っていた伝統的な酒造りの道具も展示しています。

展示室内には企画展示コーナーを設け、「テーマ展示」として、普段展示していない収蔵資料などを季節ごとに紹介しています。このテーマ展示は、市内で行われている発掘調査の成果速報展や、市内の高校生が部活動などで調査した課題研究の報告にも活用しています。

今後も、このような市内遺跡や民俗・文化の紹介、出張授業、テーマ展示などを通して、市民の社会教育活動に貢献していきたいと思っています。

開館記念講演会を開催しました

当館の開館を記念して、平成二十九年七月一日「伊豆の国市郷土資料館開館記念講演会」を開催しました。

櫻井祥行氏（伊豆の国市文化財保護審議会副会長）が「石碑が語る災害史」、笹原芳郎氏（伊豆の国市文化財保護審議会委員）が「伊豆のクニの古墳時代―多田大塚古墳群を中心に―」をテーマに講演されました。講演後は展示室において担当学芸員による展示解説も実施しました。当日は多くの方にご来場いただき、まことにありがとうございました。



櫻井氏の講演

平成三〇年度

事業報告

◎テーマ展示◎

I 伊豆の国の頼朝さん伝承

三月六日～五月三十一日

II 葦山城攻防戦について

葦山高校郷土研究部活動報告

六月五日～七月三十一日

III モノが語る太平洋戦争

八月二日～一〇月二十八日



*テーマ展示同時開催企画

狩野川台風関連資料紹介

九月一日～一〇月三十一日

IV いずのくにを掘る2

北条氏鎮魂の寺・円成寺

十一月六日～一月三十一日

*シンポジウム連動特別展

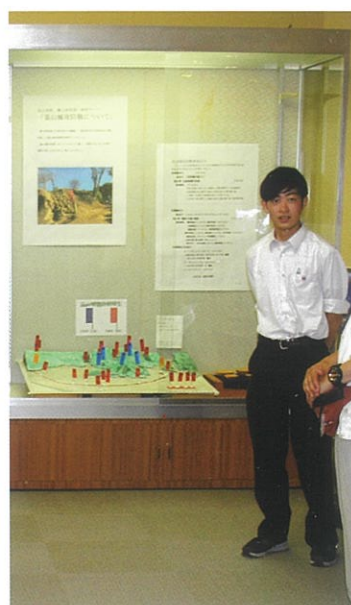
葦山反射炉への想い

二月三日～三月三十一日

展示連動企画

葦山高校生による展示解説

（平成三〇年度企画）



県立葦山高等学校文芸郷土研究部活動報告として、テーマ展示「葦山城攻防戦について」を開催しました。七月十五日には、部員の西島翼さん（二年生）が展示解説を行いました。豊臣軍の布陣や北条氏の動向・情勢についてくわしく調べ、学芸員顔負けの解説を行い、難しい質疑にもていねいに答えました。

出張講座

勾玉づくり・火起こし体験と

縄文・弥生時代の遺跡ミニ講座

（夏期出張講座）

市民交流センター（大仁くぬぎ会館）一階工作室において、滑石を使った勾玉のペンダントづくり、マイギリ式火起こし体験などの出張講座を開催しました。小学生・中学生とその保護者の方が参加しました。

【実施日】

八月十一日

十二日

十八日

二十五日



ちよつと昔のくらしを見てみよう！

（学校向け出張授業）

小学校三年生の社会科学学習向けに、民具（くらしの中の古い道具）の貸出しと、民具を使った授業を行いました。児童たちが、道具の用途やかたちの変遷を、実際に触れて学びました。

令和元年度

スケジュール

◎テーマ展示◎

I 別荘地 いずのくに

～ 近代リゾート開発小史～

四月二日～五月三十一日

II 近世以前の葦山と江川氏

葦山高校郷土研究部活動報告2

六月十五日～八月三十一日

* 展示連動企画 八月十四日

葦山高校生による研究発表

& 展示解説

III 伊豆国文学案内1

～ 橋本英吉、伊豆の国に暮らす～

九月十日～十二月一日

IV 「いごもたちと教育」の移り変わり

十二月十日～二月八日

* 令和二年初春特別展示

～ 坦庵の描く人物～

一月四日～二月二十八日

表紙の坦庵の絵画が展示されます！

現場スタッフのおススメ！

資料館へ入るとすぐに圧倒的なボリュームで目に飛び込むのが、縄文土器の一群です。小型のものから大ぶりなもの、用途もさまざまな土器が、一か所に展示され、時空を超えて私たちに迫ってくるようです。

施された文様・意匠は意外に繊細で、これらの土器を作り、物を入れたり抱えたりしながら、縄文人も、狩野川を臨み富士山を眺め暮らしたのでしょうか。その暮らしの中でどのようなドラマが繰り広げられたのか、想像するとドキドキ（土器土器）してしまいます。（受付事務担当）



施設案内

イベントメニュー

開館時間 午前九時～午後四時三〇分
休館日 月曜日 毎月最後の金曜日
年末年始（十二月二十八日～一月三日）
六月最終週の館内整理期間
（図書館休館日に準じる）

料金 無料

所在地 静岡県伊豆の国市田京一六七・七
（伊豆の国市立中央図書館二階）

問合せ 〇五五八・七六・五六七八

周辺地図



伊豆の国市郷土資料館 資料館だより vol.1
編集発行：伊豆の国市郷土資料館 令和元年十一月一日
印刷：いさや印刷工業株式会社